

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	由利本荘市中央図書館			代表者名	越川 憲光
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	由利本荘市中央図書館	連絡先電話番号	0184224900
担当者役職	館長	担当者氏名	越川憲光	連絡先E-mail	
住所	O15-0076 秋田県由利本荘市東町15番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名（予定）	広域図書館サービスICT導入事業
概要	自治体図書館における、ICTを導入した広域サービス体制の構築について		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） デジタルアーカイブ／図書館		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	425	令和7年2月20日	支援・助言	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年2月5日	講演(実地)	13時00分	16時00分	
				活動時間（分）	180
2-2. 派遣場所	会場名	由利本荘市文化交流館 カダーレ		最寄駅	JR羽後本荘駅
	所在地	秋田県由利本荘市東町15番地		最寄駅からの交通手段	徒歩（5分）

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山崎 博樹
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	図書館システムに精通しているアドバイザーであり、また、本市の現状も理解しているため、今後のシステム更新に向けた現実的な機能の付加（共有ナレッジシステム等）について大変深く理解が出来た。 また、データベースの重要性や作成方法など、住民との協働で進める地域づくりに貢献可能な運営方法などについても助言をいただき、今後の図書館運営に活用するべき事項についても学習できた。
アドバイザーへの要望事項	機能の付加が必要な根拠について、図書館職員が財政担当者に対して十分な説明が出来るよう、更なる助言や支援をいただきたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	7人
	属性 自治体職員 住民 企業・団体 その他(学生など)	人数 4 3	

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	今後も地方交付税が年々減少し財政面で苦慮する状況の中、安価でICTを効果的に取り入れた高機能な図書館システムに更新していかなければならないこと。 また、広大な面積でインフラ等の地域格差の大きい本市にとって、今後、効率的な図書館システムの運用による住民の利用格差解消が要求されること。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	ICTを効果的に取り入れた高機能な図書館システムに更新する。 高機能な図書館システムにより、利用者の地域格差の解消を図る。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	- データの作成においては量よりも質が重要であり、少量でもいいのでしっかりとデータを集積することにより有効に活用することが可能となる。 - 地域資料を市民協働でデジタルアーカイブ化することにより、活用や保存（JPEG2000等が有効）が可能になるとともに、地域の活性化にもつながる。 - 地域資料をデジタル化する場合は、郷土資料館等と協働で進めていくのが有効である。 - 企画展示を行った書籍の共有ナレッジシステムは、利用者が持つ「検索」のハードルを緩和する効果が期待できる。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	「由利本荘市マイナンバーカード利活用宣言」により市民の利便性向上のためICT化を推進している本市においては、令和5年度にマイナンバーカードによる図書利用システムを導入しており、今後、ICTを推進するため職員間の共通理解を得る良い機会となった。 - 令和7年度に本市図書館システムの更新時期が来るため、今後、付加可能な機能について大変参考になった。 - 特にデータベースの構築方法について、データの作り方や保存方法が重要になる点を理解することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	令和7年度の図書館システム更新に向けた支援・助言を受けている段階である。 このため、新規機能の導入の予算化は令和8年度になる見通しであり、教育委員会や市当局との間で事業効果等について共通認識を得る必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 具体的な付加機能の予算要求の前段階における支援・助言であったため、今回はアンケートを実施しなかった。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
4-4. 事業の最終的な目指す姿	次年度以降、付加機能導入に向けた予算を獲得し、システムを有効活用できるよう職員間で研鑽を重ね、一層の図書館利用の向上をはかる。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 ☐ 掲載可 ☐

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past_year_all houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

